

## ～呼子くんち由来～

「呼子くんち」は戦前、呼子の各地区が同じ日に別々に秋祭を行っていました。地区によっては御神輿の巡幸があったり、特別に山車を作って曳き回したりしていました。山車行事自体は、おくんちだけでなく、町の重要な記念日などに各地区で山車を作り、道中踊りや仮装行列などもおこなわれていました。

このような伝統をふまえ神奈川県横浜市の進藤家様から、親子鯨の山車（堀木エリ子さん制作）が呼子八幡神社へ奉納されました。これを機に呼子地域全体の祭りとして、世代間交流や地域活性化、捕鯨文化の継承を目的に令和4年に呼子くんちが復興しました。

親子鯨の山車は、鯨組主中尾家屋敷を出発し、朝市通りを往復して町中を北側の呼子台場みなとプラザまで巡行します。呼子八幡神社の御神輿も台場の御旅所までお下りしお祭りをします。

夕方には、親子鯨の山車を台船に乗せ、「親子鯨の弁天様詣り」を再現します。

※親子鯨の山車の海上巡行を含め、気象条件により中止・変更する場合があります。



鯨山車 巡行中



八幡神社 お神輿 お下り



湾内巡行



神事



YOBUKO KUNCHI

【はっぴ：十四代中里太郎右衛門監修】